

症例1 婦人科

横山正俊

佐賀大学医学部産婦人科

症例：74歳，女性

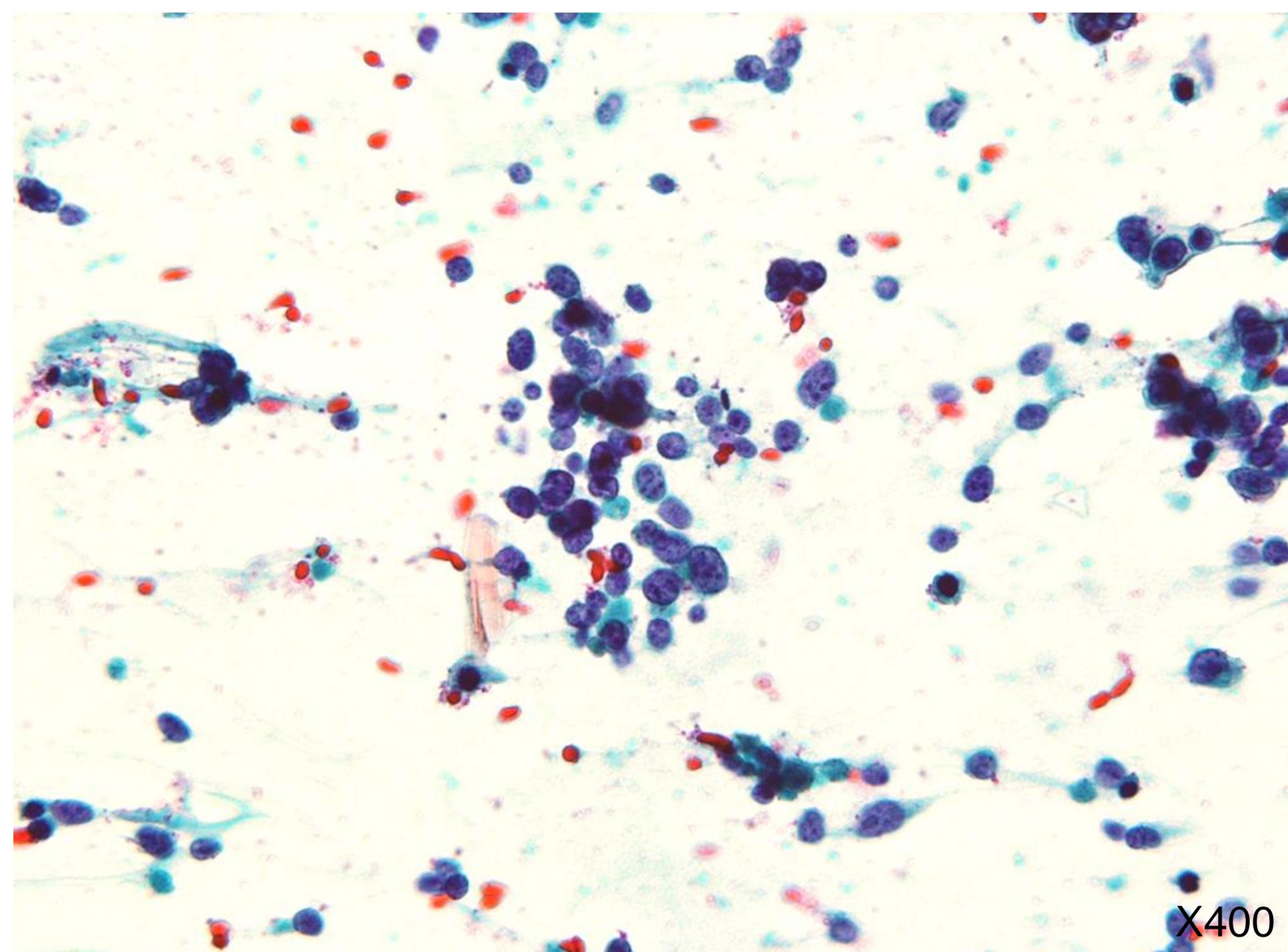
採取部位：子宮頸部

採取方法：綿棒

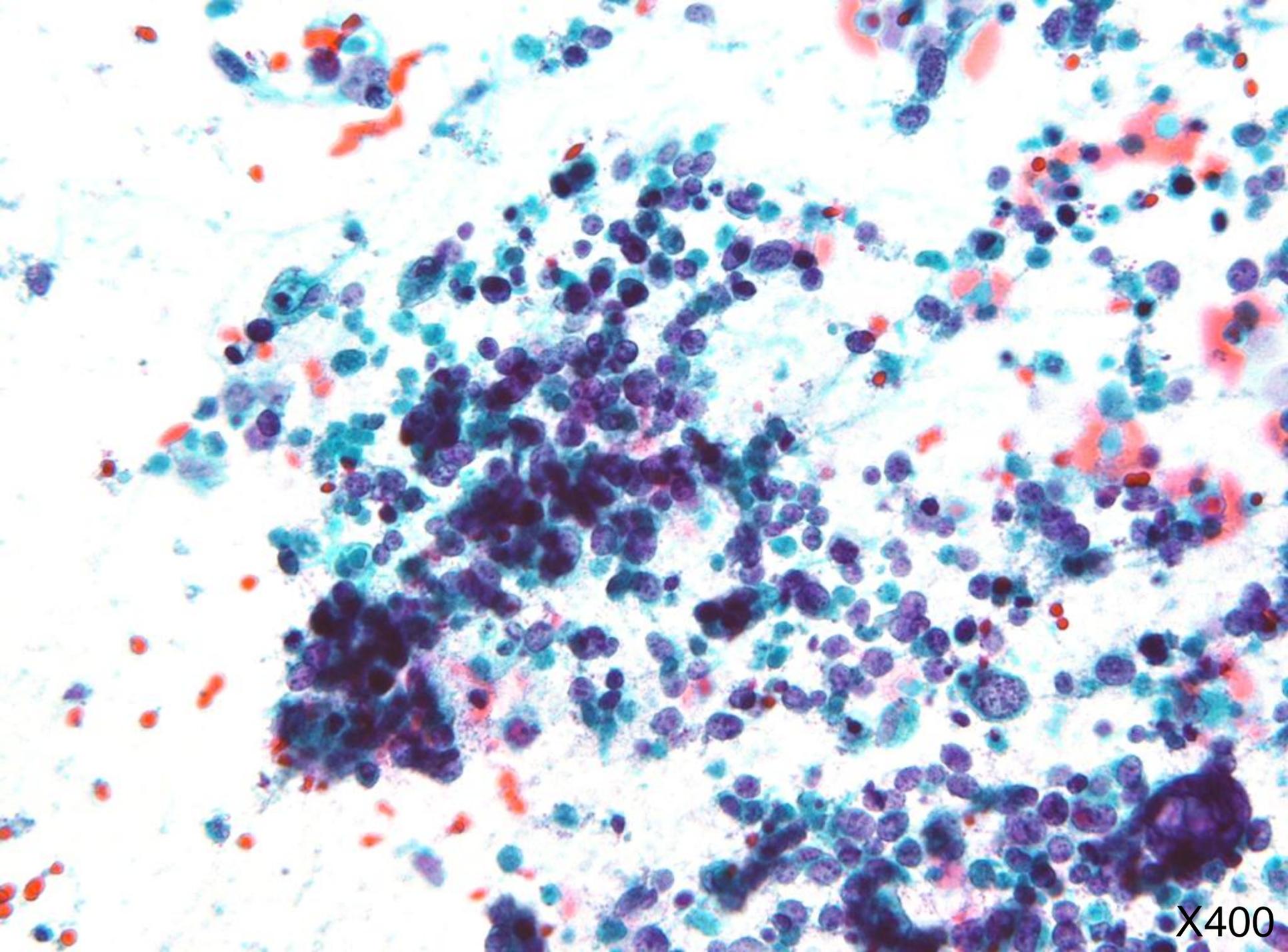
染色：パパンニコウ染色

現病歴：4経妊、2経産、閉経50歳

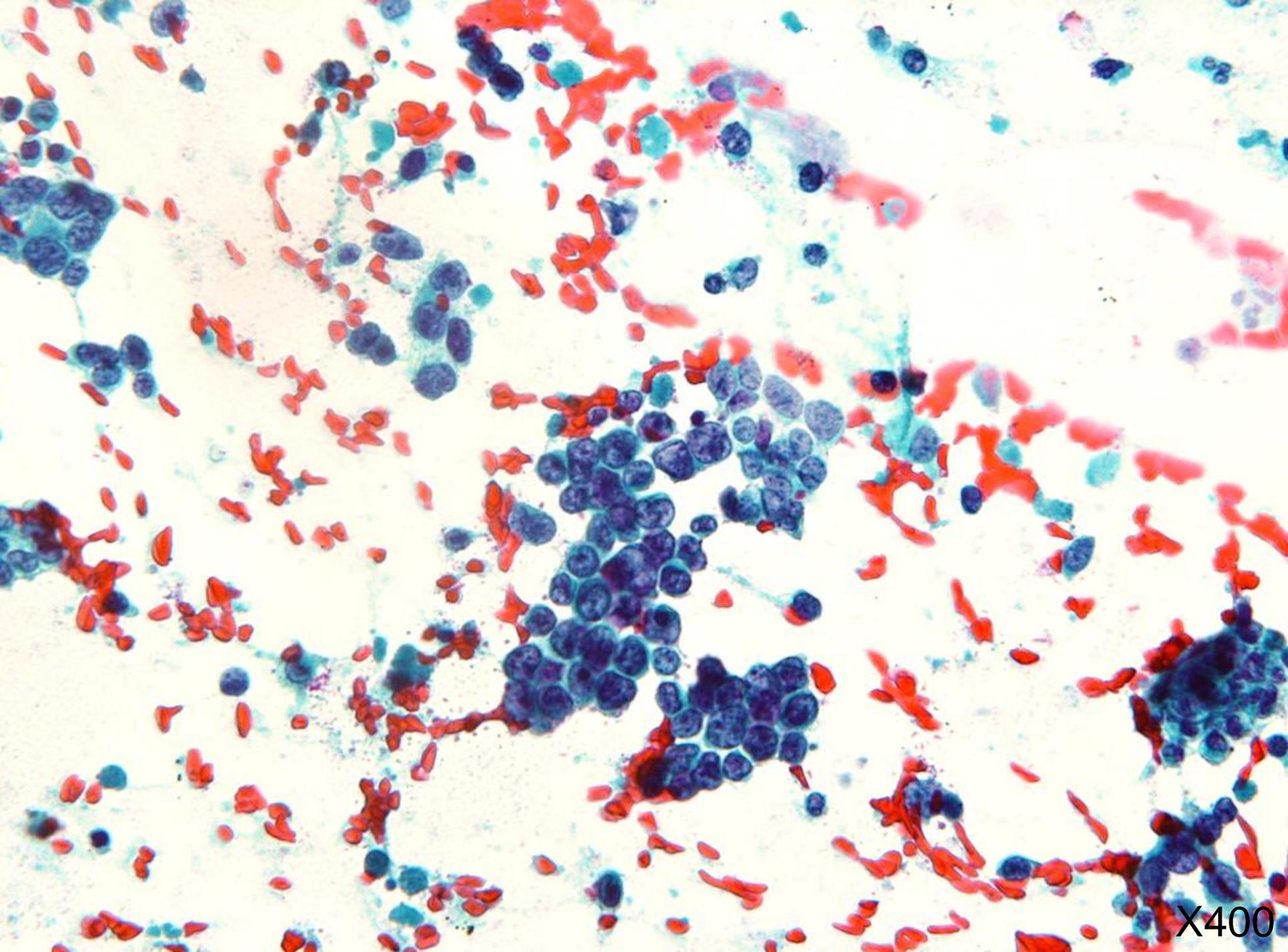
1ヶ月前から不正性器出血あり
子宮頸部の腫瘍性病変を指摘され
紹介受診。



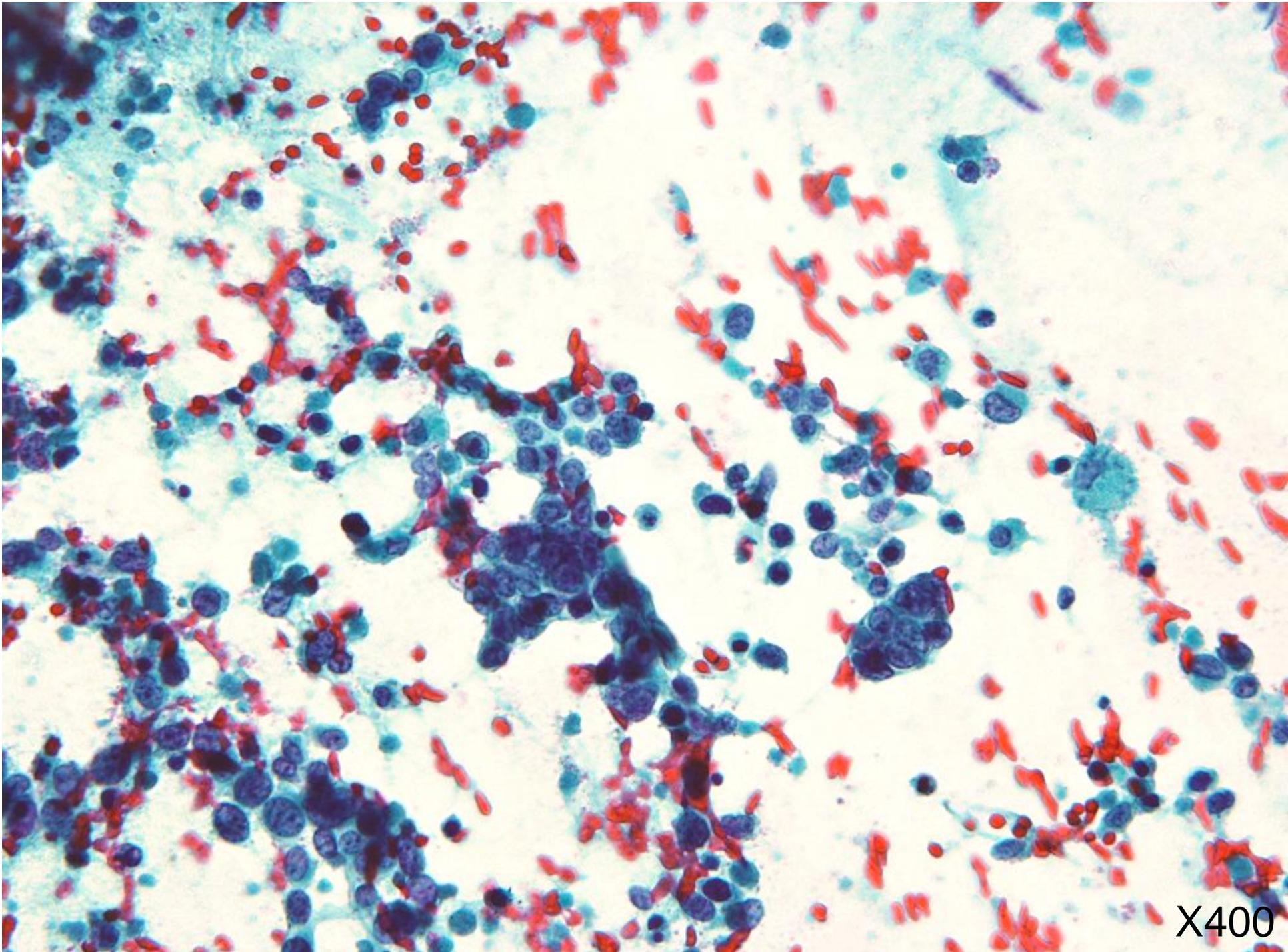
X400



X400



X400



X400

選択肢

1. 非角化型扁平上皮癌
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性リンパ腫
5. カルチノイド

解答

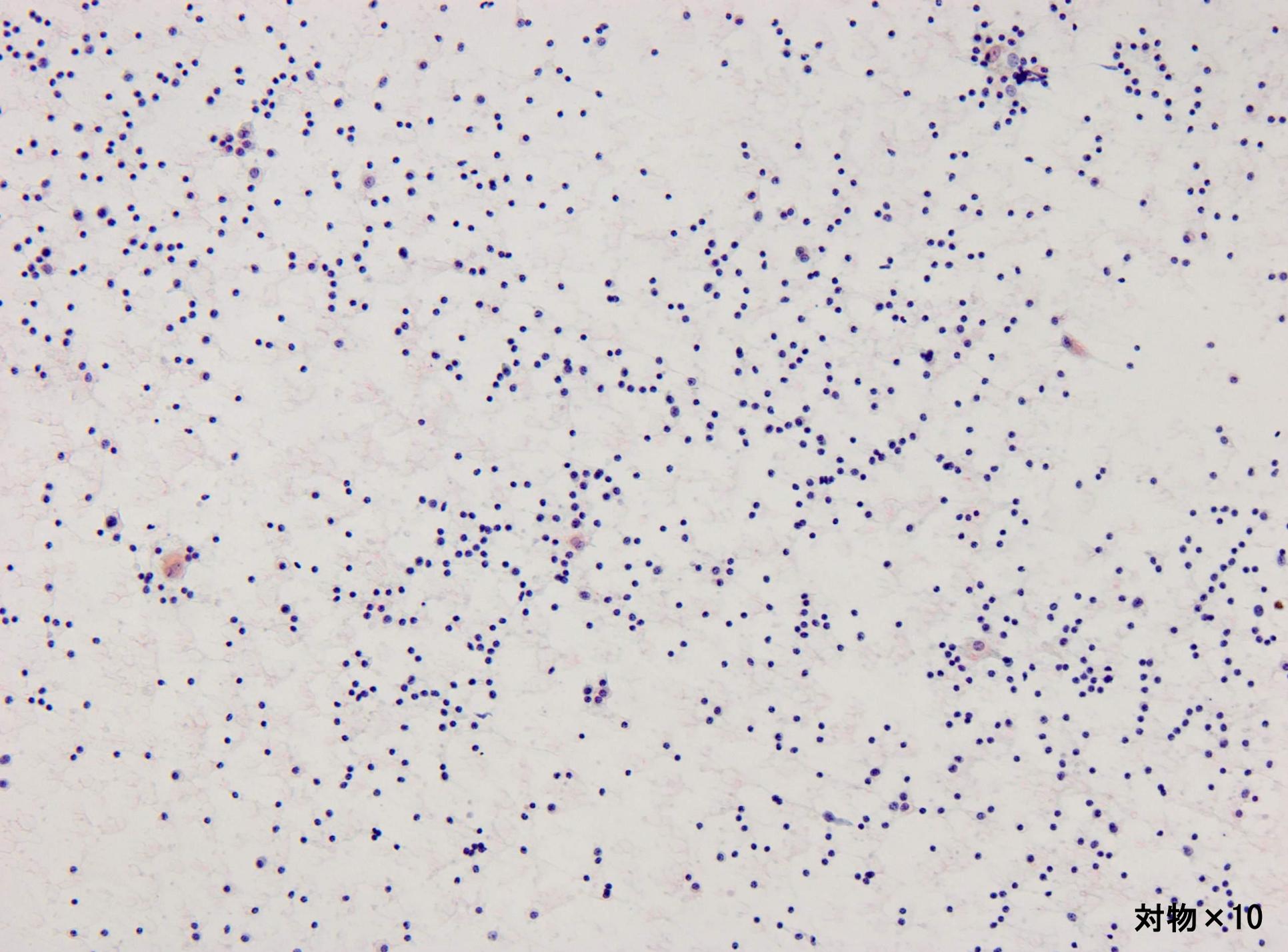
1. 非角化型扁平上皮癌
2. 腺癌
3. 小細胞癌
4. 悪性リンパ腫
5. カルチノイド

症例 2 呼吸器

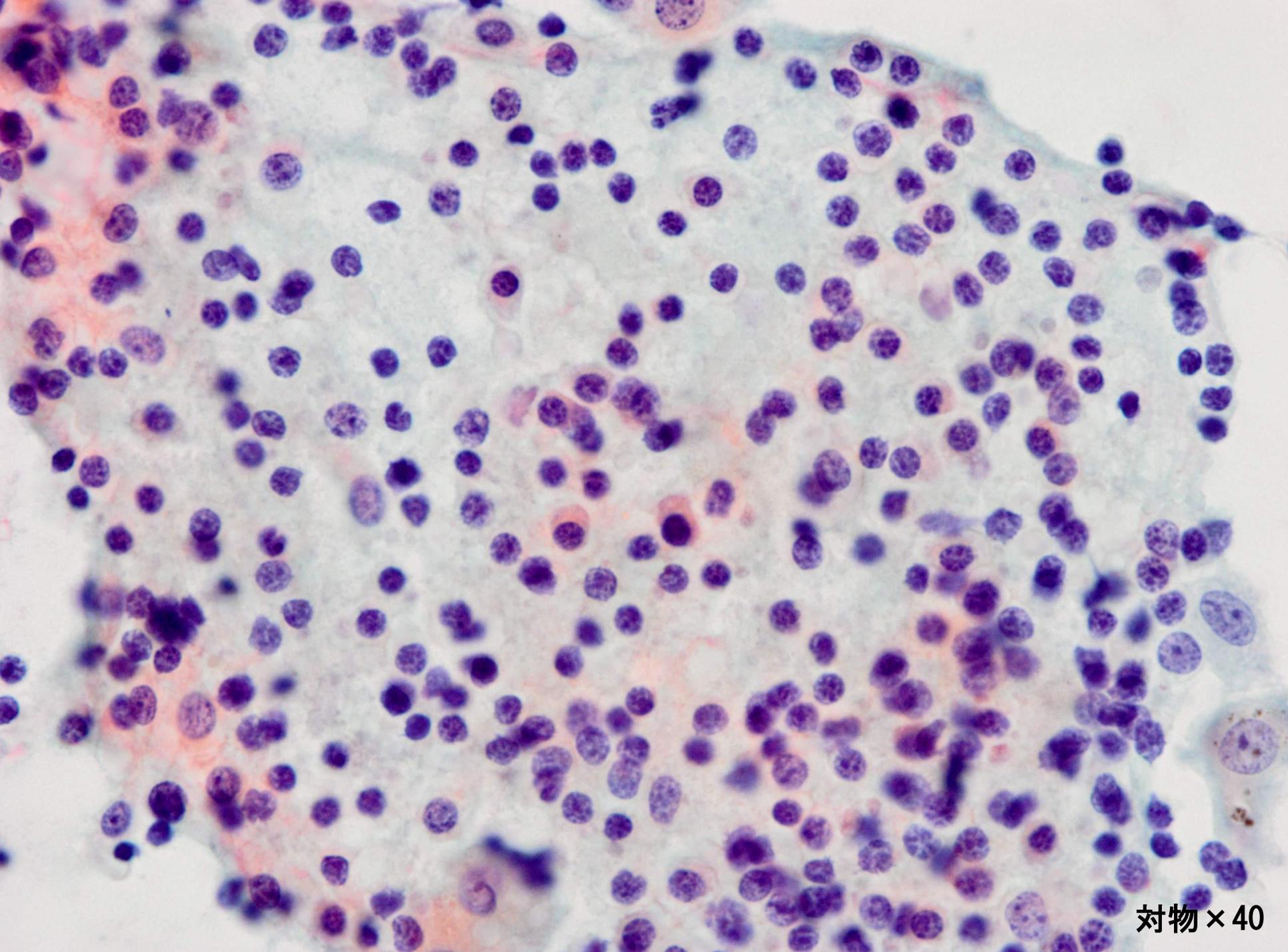
長崎大学病院 病理部

安倍 邦子

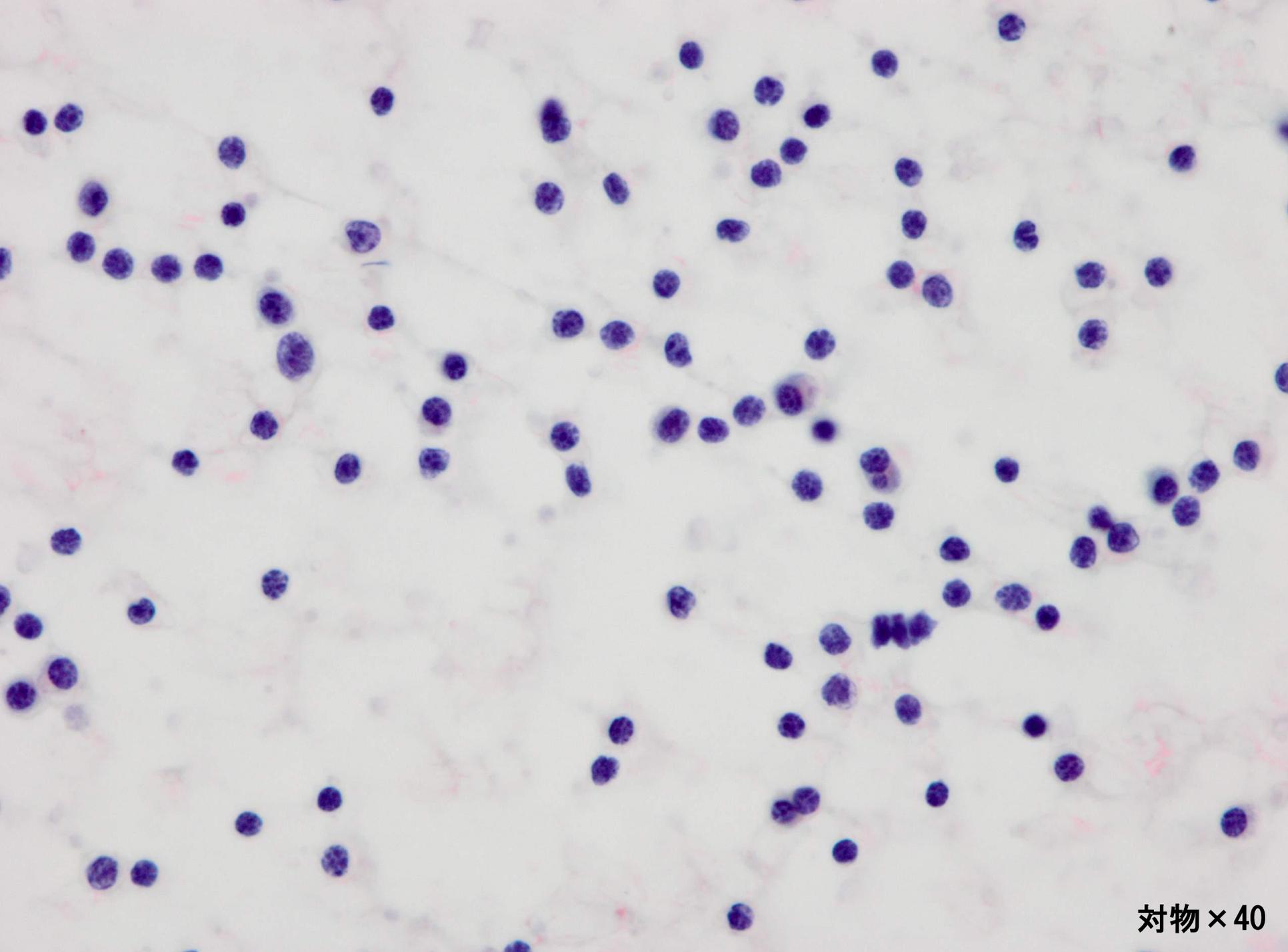
患者	70歳 女性
検体	気管支擦過
染色	パパニコロウ染色, ギムザ染色
現病歴	生来健康 原爆検診にて, 右中肺野外側に2cm大の結節影を指摘され, 精査. 咳嗽や胸痛などの症状は特にない. TBLBで確定診断には至らず, 右S6の部分切除術施行される. 標本は術前の気管支擦過細胞診である.



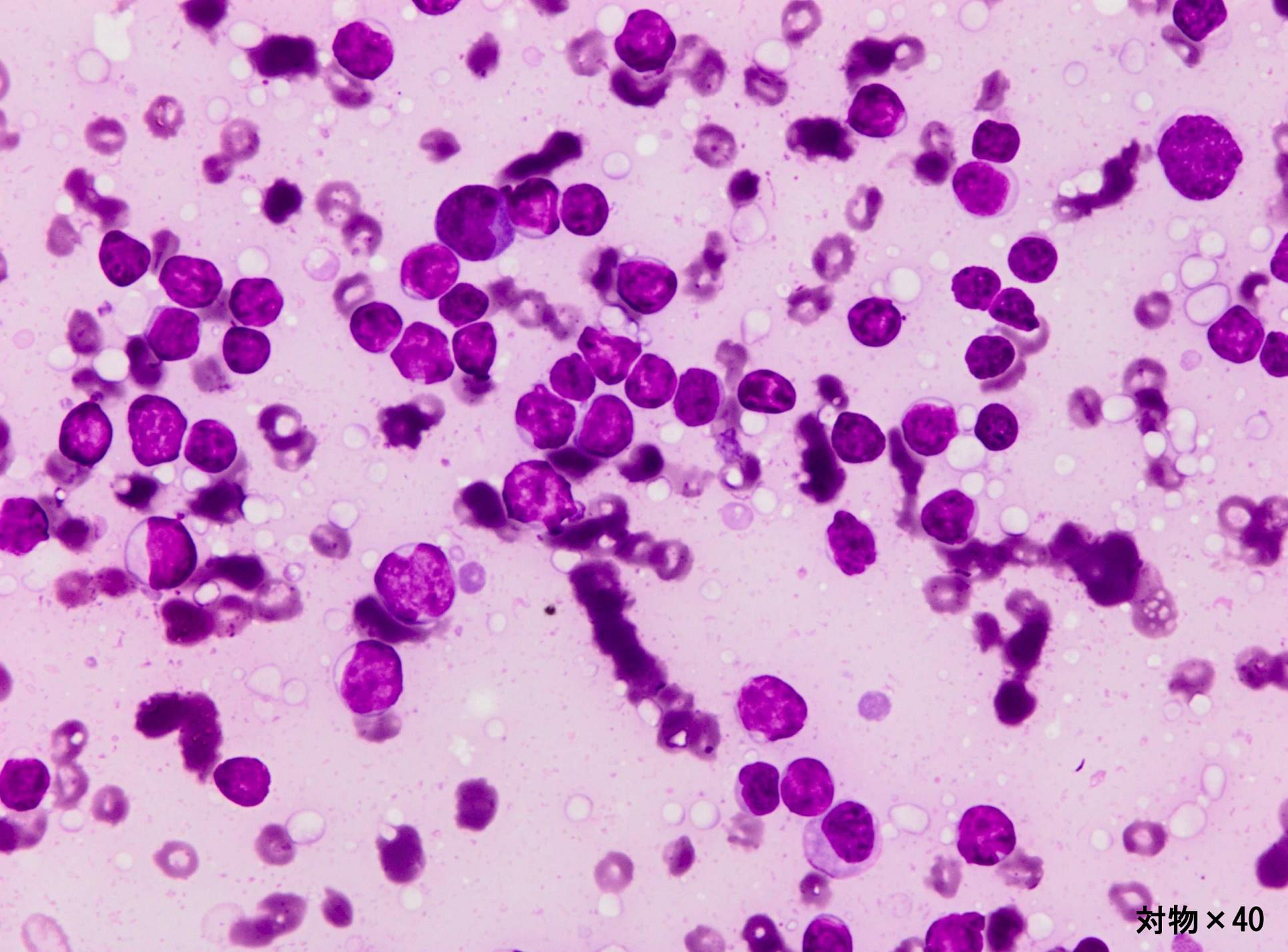
対物×10



対物 × 40



対物 × 40



対物 × 40

選択肢

1. 小細胞癌
2. 間質性肺炎
3. クリプトコッカス症
4. 肺結核
5. 悪性リンパ腫

解答

1. 小細胞癌
2. 間質性肺炎
3. クリプトコッカス症
4. 肺結核
5. 悪性リンパ腫

症例3 体腔液

島松 一秀

 地方独立行政法人 大牟田市立病院

病理診断科

症例： 72歳、男性

採取部位：腹部

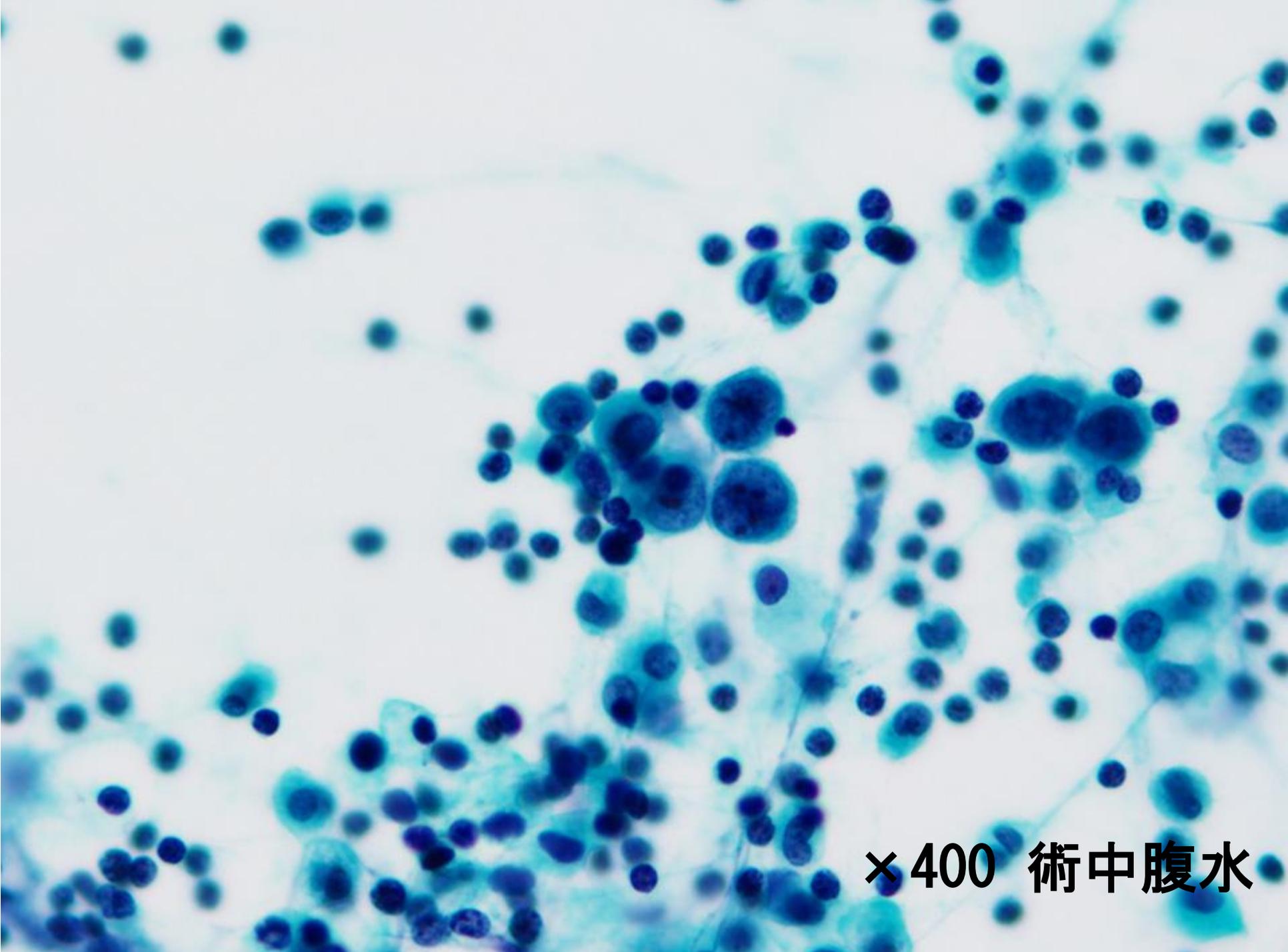
採取方法：術中腹水、腹水穿刺

染色： パパニコロウ染色

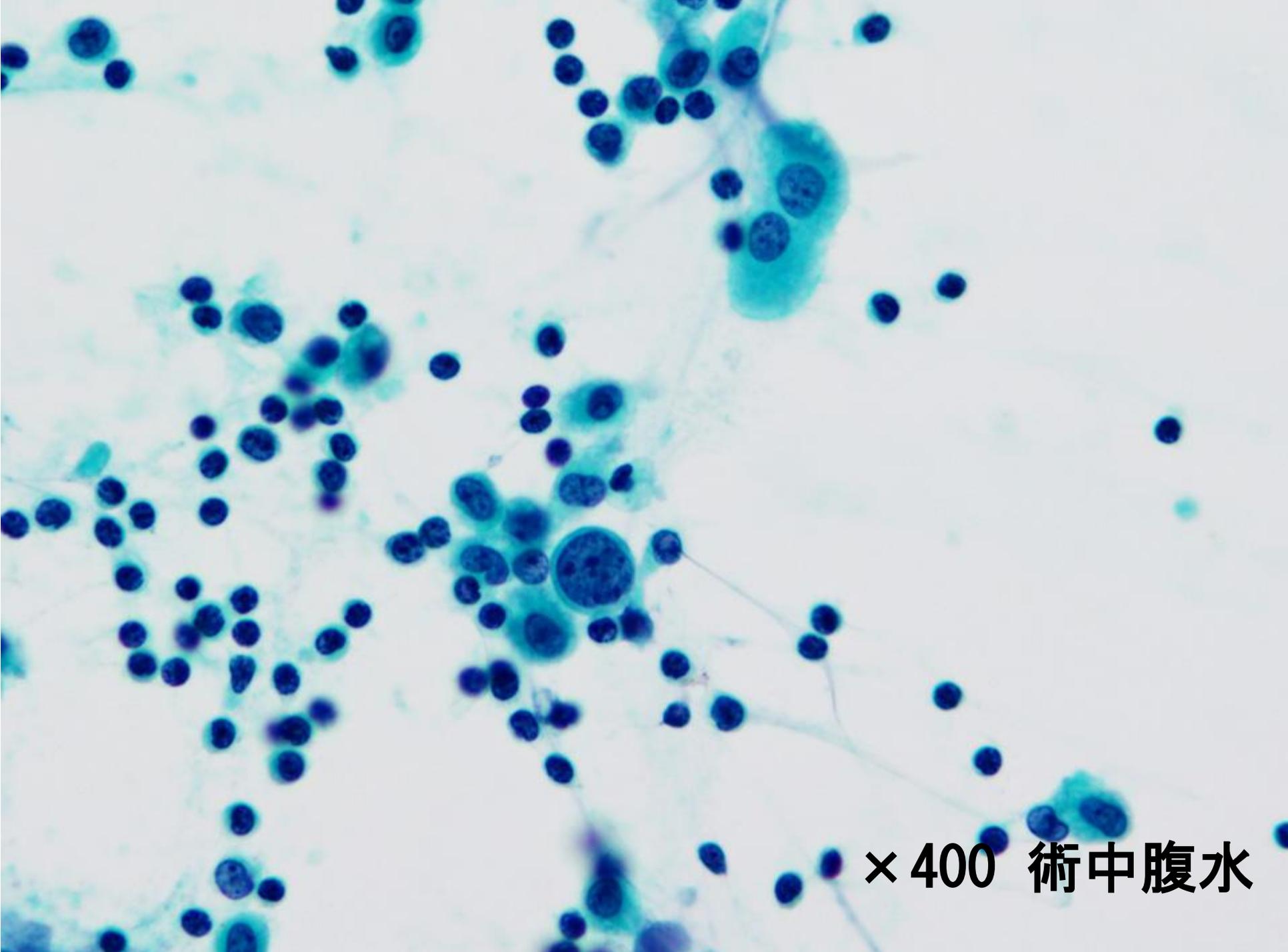
現病歴：

右下腹部痛を自覚し、下部消化器内視鏡にて肝彎曲部の全周性肥厚を指摘された。右半結腸切除術が施行され、その時の肉眼(写真1)、術中腹水細胞診(写真2, 3)、術後約5ヶ月(化学療法併用中)の腹水穿刺細胞診(写真4)を示す。腫瘍マーカー(初診時)は、CA19-9 981 U/ml、CEA 23.8 ng/mlであった。

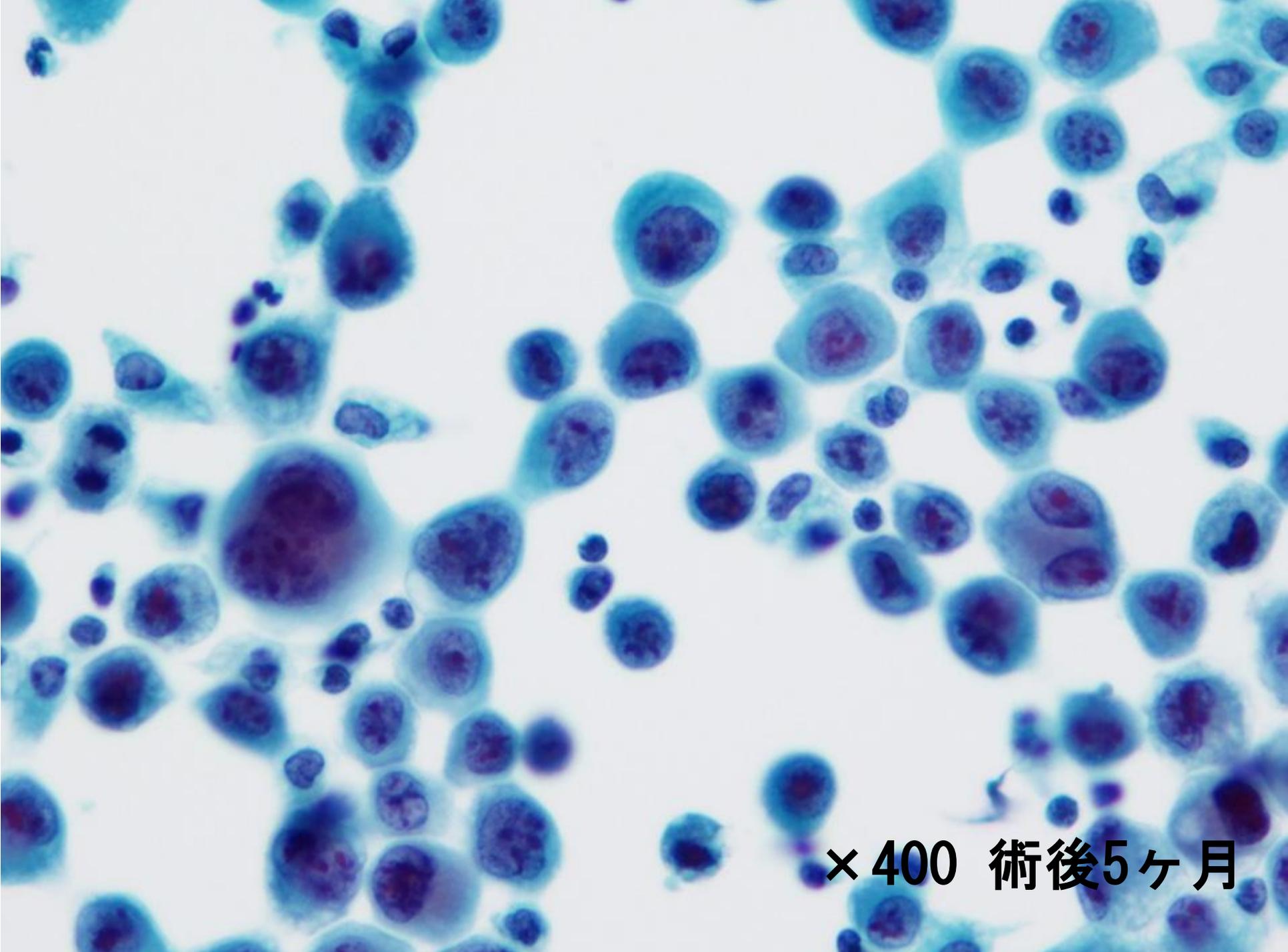




× 400 術中腹水



× 400 術中腹水



× 400 術後5ヶ月

選択肢

写真1～4より推定される細胞診断名は？

- 1) 反応性中皮細胞(術中腹水)と
低分化型腺癌(術後5ヶ月)
- 2) 反応性中皮細胞(術中腹水)と
低分化型扁平上皮癌(術後5ヶ月)
- 3) 悪性リンパ腫
- 4) 内分泌細胞癌
- 5) 悪性中皮腫

解答

写真1～4より推定される細胞診断名は？

- 1) 反応性中皮細胞(術中腹水)と
低分化型腺癌(術後5ヶ月)
- 2) 反応性中皮細胞(術中腹水)と
低分化型扁平上皮癌(術後5ヶ月)
- 3) 悪性リンパ腫
- 4) 内分泌細胞癌
- 5) 悪性中皮腫

症例4 乳腺

有馬 信之

熊本市民病院 臨床病理科

症例(46歳、女性)

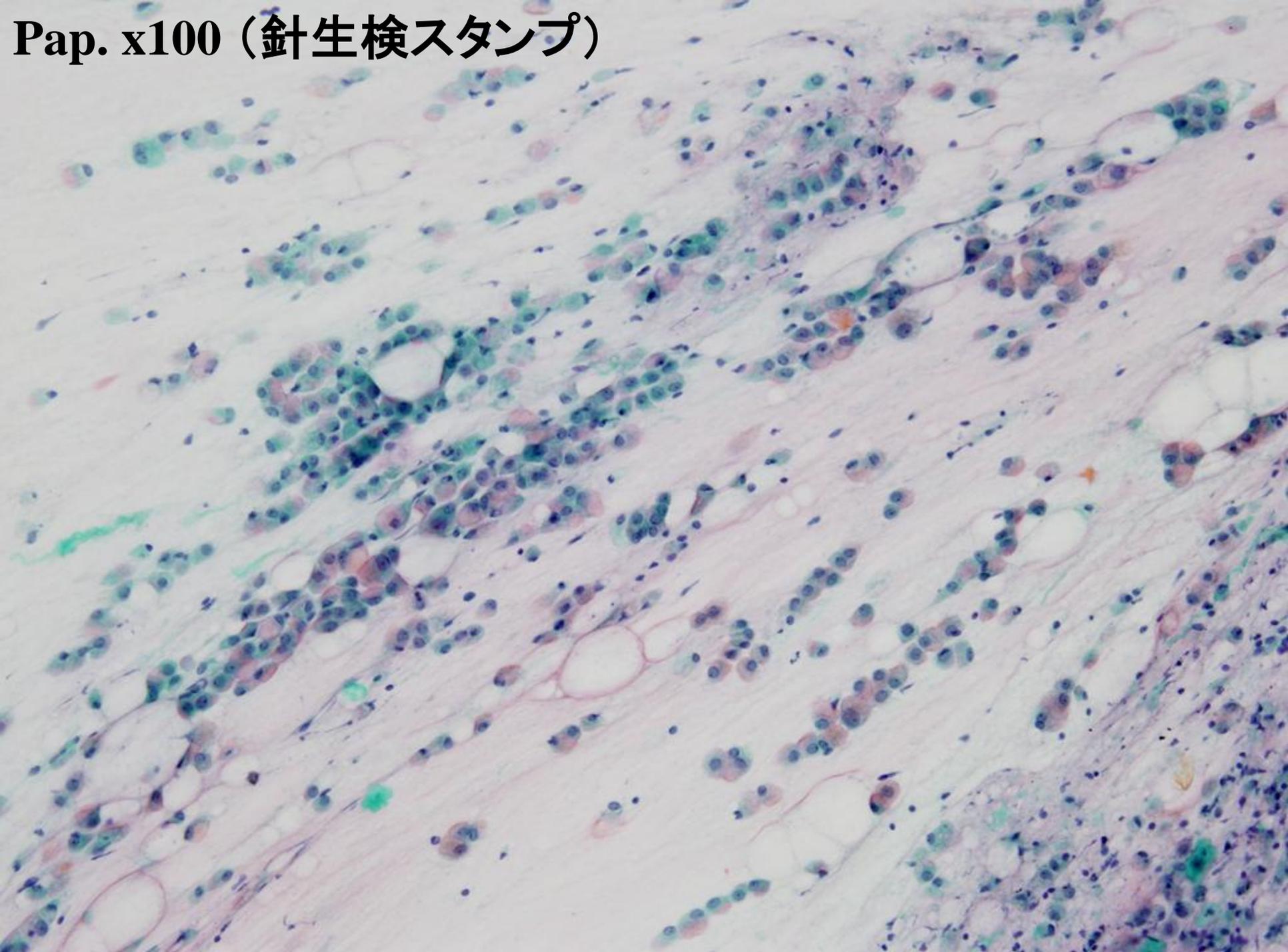
採取部位:左乳房

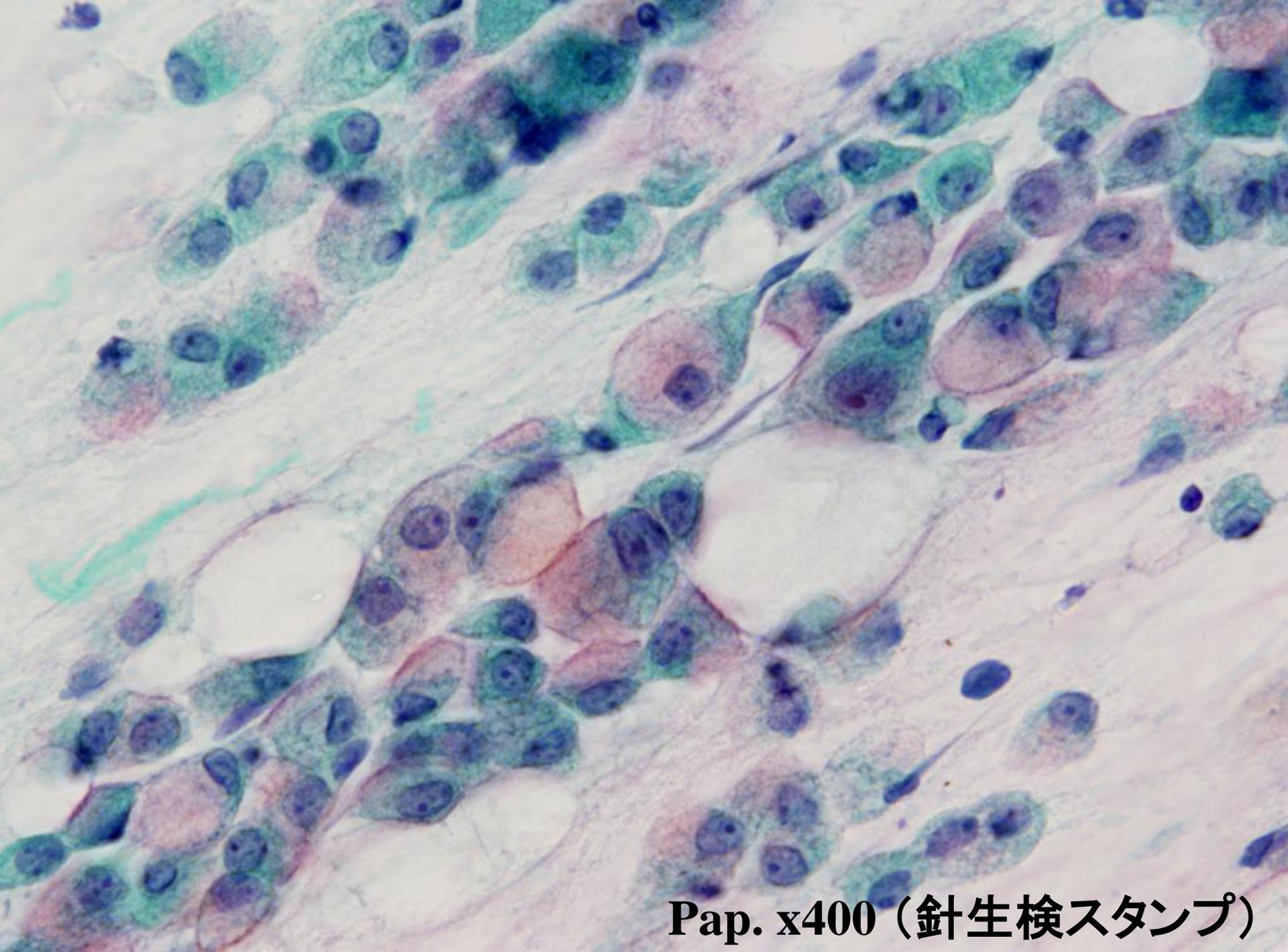
採取方法:針生検スタンプ法、穿刺吸引法

染色: Pap 染色

**現病歴: 2年前に左乳房のしこりを自覚するも放置。
2ヶ月前に検診の超音波検査にて要精査となり、
1ヶ月前に針生検が行われた。針生検のスタンプ標
本と摘出乳腺の穿刺吸引細胞診を供覧する。**

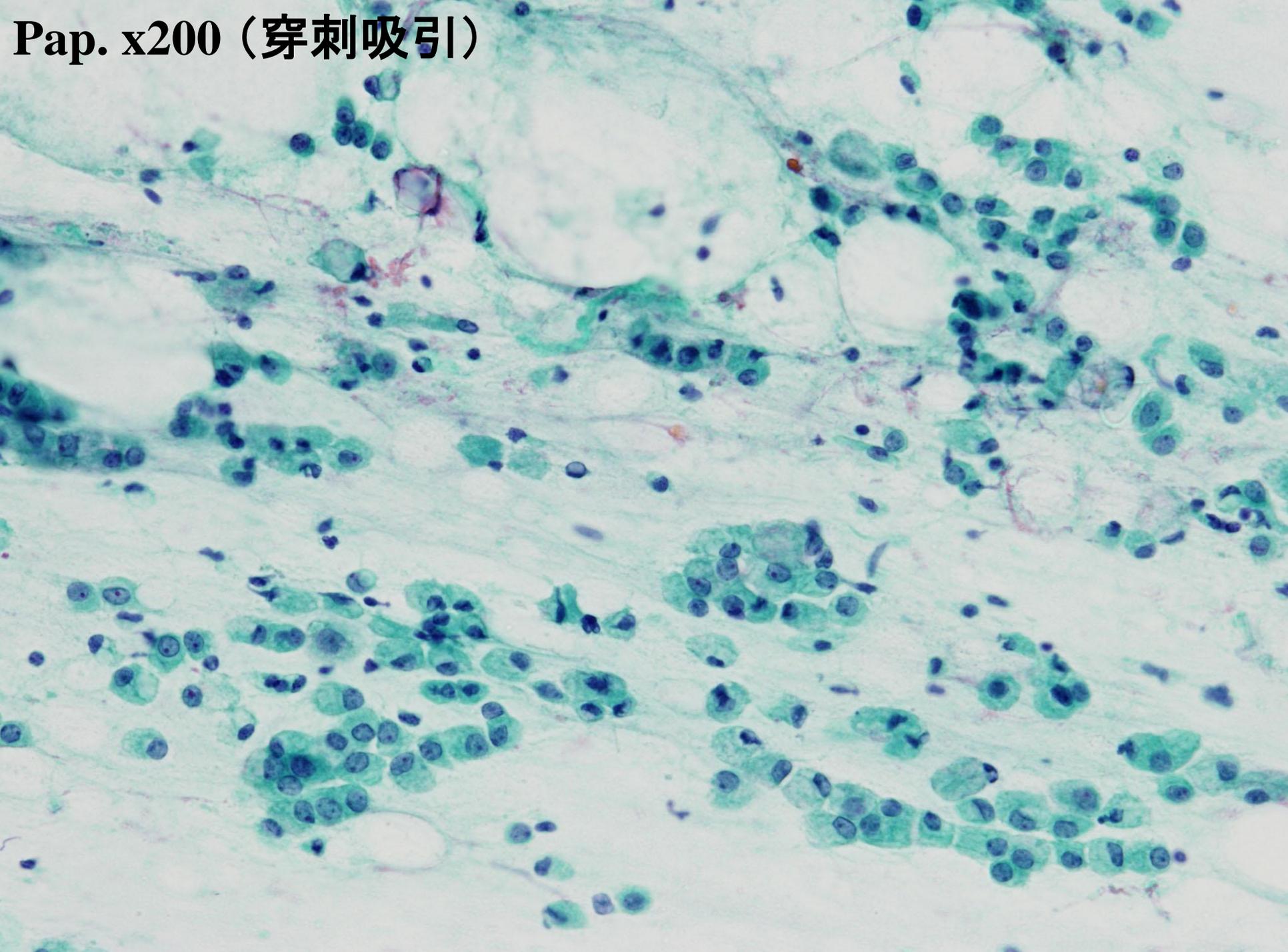
Pap. x100 (針生検スタンプ)



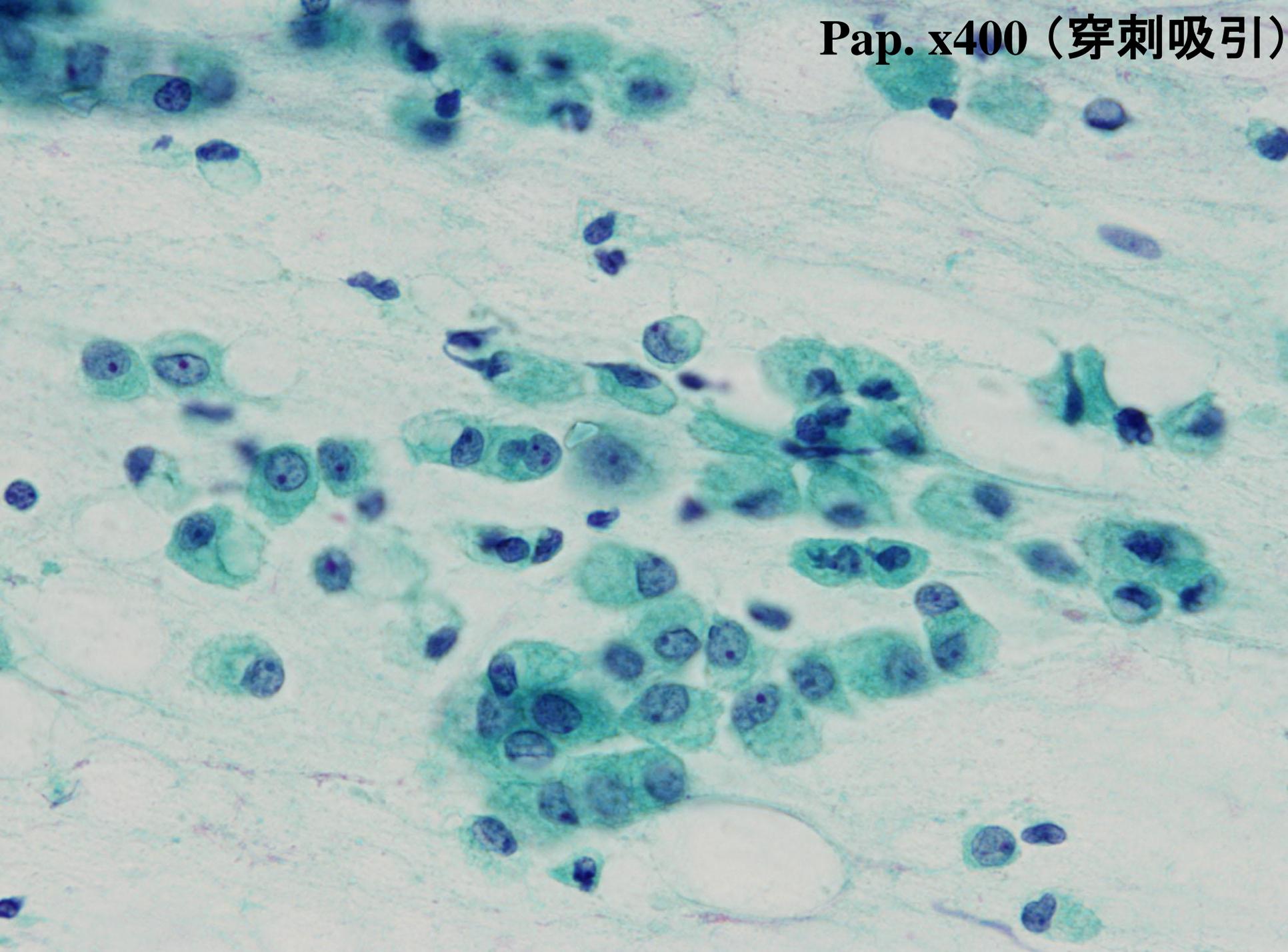


Pap. x400 (針生検スタンプ)

Pap. x200 (穿刺吸引)



Pap. x400 (穿刺吸引)



選択肢

- 1 Glycogen-rich clear cell carcinoma
- 2 神経内分泌癌
- 3 胃癌の転移
- 4 浸潤性小葉癌
- 5 硬癌

解答

- 1 Glycogen-rich clear cell carcinoma
- 2 神経内分泌癌
- 3 胃癌の転移
- 4 浸潤性小葉癌
- 5 硬癌

症例5 泌尿器

加島健司

大分大学医学部附属病院病理部

症例： 40歳代 男性

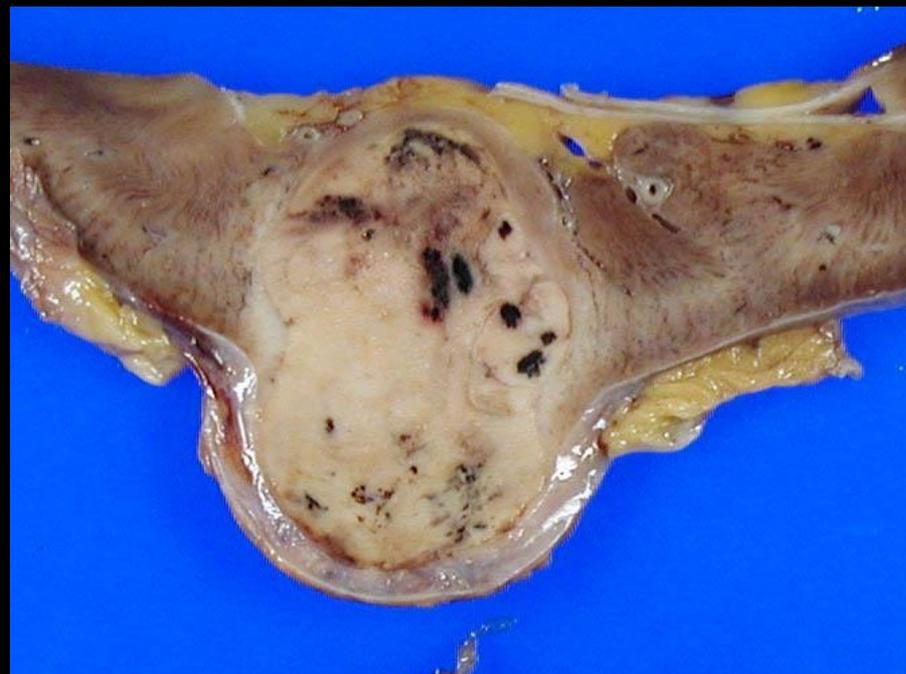
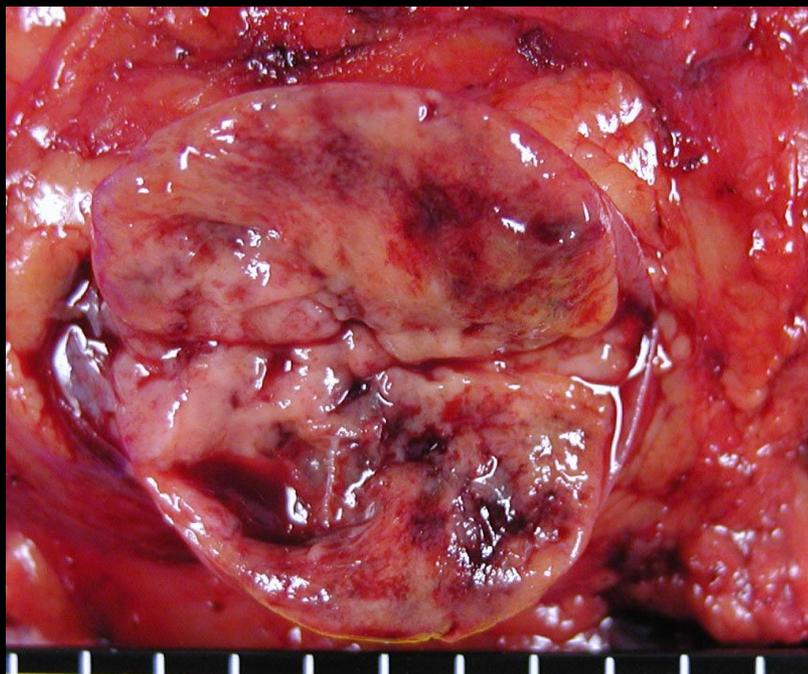
採取部位： 右腎臓

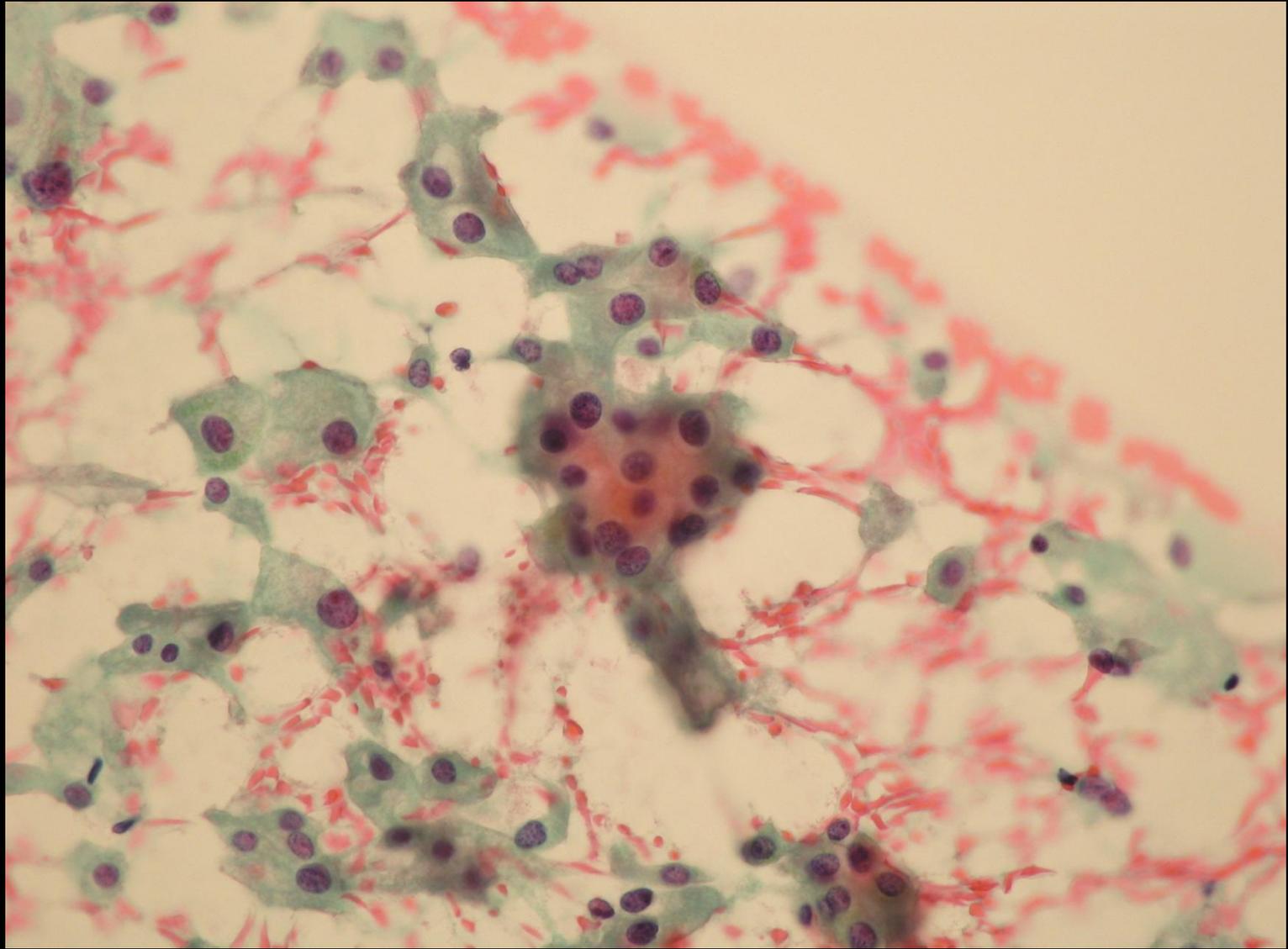
採取方法： 腫瘍捺印細胞診

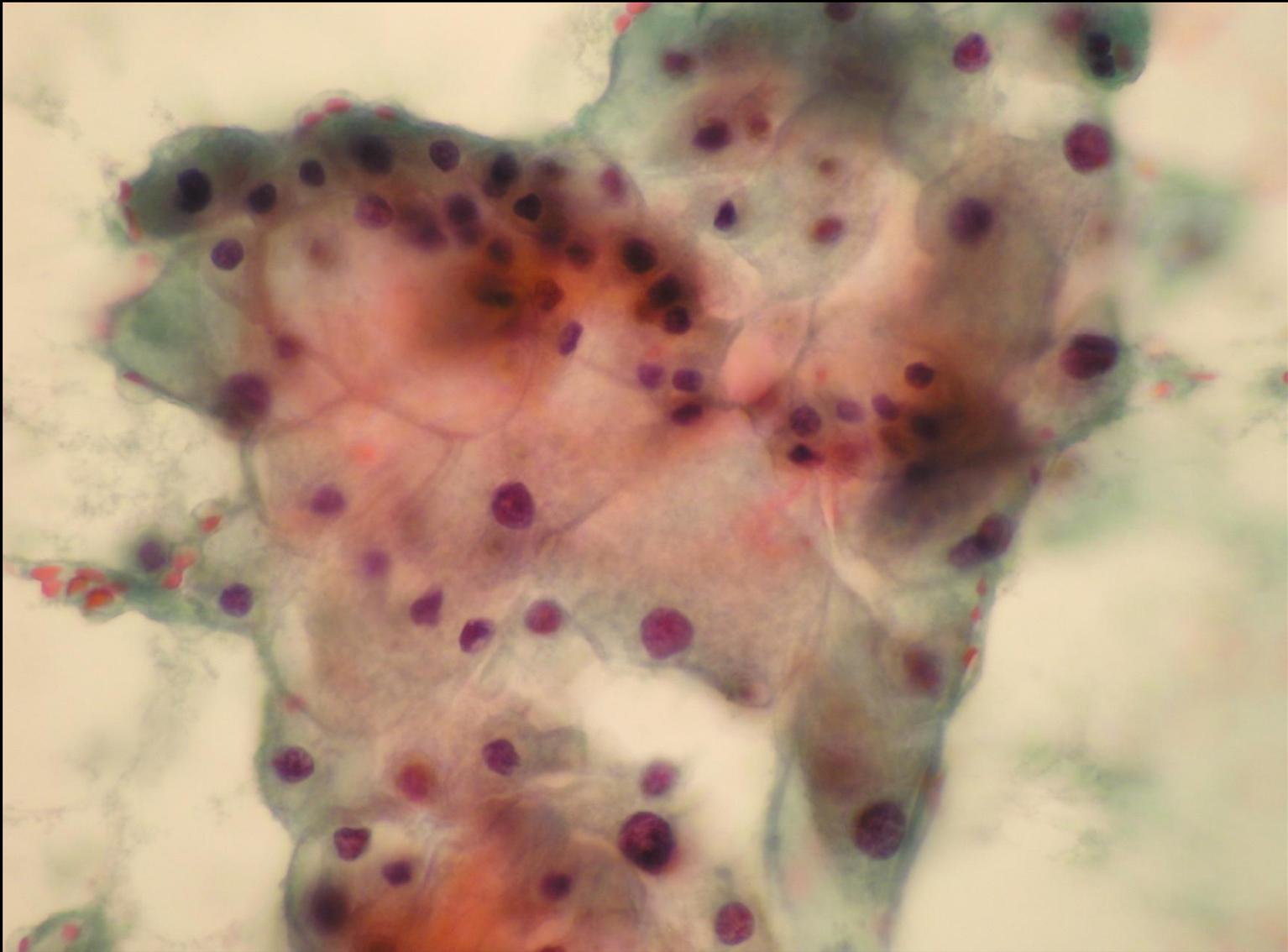
染色： パパニコロウ染色

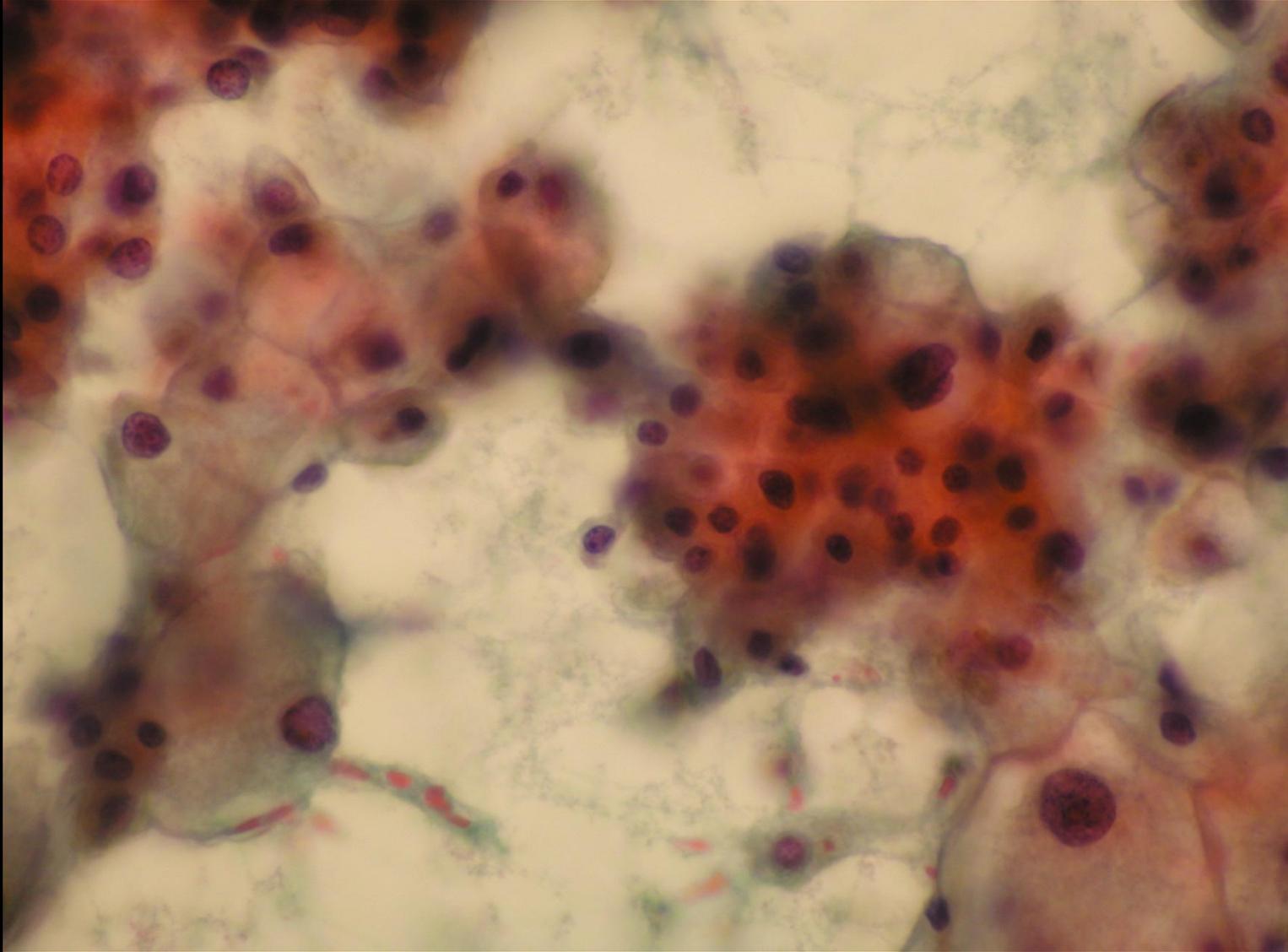
現病歴： 超音波・CT検査にて、右腎臓内に約3cm大の充実性腫瘍が認められた。MRI検査では造影効果は不均一であった。腎細胞癌の診断の下、腹腔鏡下右腎臓摘出術が施行された。

病変の肉眼像









選択肢

1. 淡明細胞癌
2. 乳頭状腎細胞癌
3. 嫌色素細胞癌
4. オンコサイトーマ
5. 黄色肉芽腫性腎盂腎炎

解答

1. 淡明細胞癌
2. 乳頭状腎細胞癌
3. 嫌色素細胞癌
4. オンコサイトーマ
5. 黄色肉芽腫性腎盂腎炎